

科目区分 学校教育実践コース（美術教育専修）、造形芸術コース  
授業科目名 日本美術史演習

## 古美術見学

美術教育講座 稲次保夫

この授業は、学校教育実践コース（美術教育専修）および造形芸術コースの2・3回生を主な対象とする集中講義で、隔年の3月中旬に7日間の日程で、奈良・明日香村・京都に遺るさまざまな古美術を見学するものである。

### 1、お知らせ（掲示）

実施年度の後学期はじめに、「集中講義のお知らせ」として、以下のことを記して掲示した。

◇日程と見学予定地、◇費用（宿泊費・拝観料・交通費）、◇宿泊予約のこと、◇事前に説明会を開くこと、◇問い合わせ先（担当教員）

### 2、事前の説明会

履修届けをした学生を対象に、説明会を開いた。説明会では、見学のための資料（小冊子）を配布するとともに、交通・宿泊・費用などについて説明した。以下は、その時のメモである。

- (1) 奈良・明日香村・京都方面の古美術を見学する。
- (2) 日程と見学予定先は、配布した小冊子に記された通り（天候・交通事情などにより変更する場合がある）
- (3) 自由行動も可。自由行動の場合は、見学地・見学した作品などについて報告する。
- (4) 毎日たくさん歩くので、歩きやすい靴、動きやすい服装。（山道あり、自転車あり）
- (5) 毎日一回は、その日の発見・おどろき・感想・つぶやき等をメールで送信する。
- (6) 成績は、実地見学を評価してつける。レポートを参考にする。レポートは、①「古美術見学」の感想・エッセイと、②印象に残った作品について。
- (7) 費用は約42000円（昼食夕食代・松山発着の高速バス料金は含まない）

[内訳] 宿泊費約22000円（6泊）、拝観料約13000円、交通費約7000円、その他

◇松山発着の交通（各自で予約）

◇宿所の予約（希望人数を確認のうえ、稲次がまとめて予約）

奈良4泊 京都2泊

◇役割分担をきめる

拝観料係、宿泊費係、交通費係、会食係

◇その他、旅行保険など

説明会後に、受講を取りやめる者、新たに受講を希望するものが各々数名いた。結局、実際に受講したのは、学校教育実践コース9名（美術教育専修でない者も含む）、造形芸術コース10名の、計19名だった。

### 3、受講者の感想・つぶやき

受講者の感想やつぶやきを、送信されてきたメールの中から一部、原文のまま記す。

◇今日は興福寺、東大寺、新薬師寺に足を運び、どの場所でも館内に入ると外とは違って空気感が変わるのをまず感じた。仏像のプレッシャーみたいなものや、重みのようなのがそうさせたのではないかと思う。

◇板彫十二神将のたった3cmの板の厚さから造られた人物の奥行きと動きの表現に感動した。

◇一番印象に残ったことは世界遺産の春日大社に行っておみくじを引いたことです。二人とも大吉でした。

◇夜はお水取りを見ました。

◇今日はたくさんのお寺を巡って脚が疲れしました。←【初日から？(笑)、稲次】

◇法隆寺の二体の金剛力士像は、似ているようで胴部の造り方が違って、素材が異なることで、こんなにも印象が変わってくるものだなと

驚きました。

◇五重塔における釈迦の説法から涅槃、骨分け、そして新しい如来の誕生（中略）塔の四面を使って起承転結、とても面白い趣向であると思った。

◇一番心奪われたのは唐招提寺のトルソーと呼ばれる如来行立像です。背中側から見ても美しい形をしていました。何となくサモトラケのニケを思い出しました。全体で見た時の、衣紋の繊細さやももの張り、腕と腰の間に溜まった皺の様子が、（中略）素敵だなと思いました。

◇唐招提寺の千手はもう凄かったですね!!

◇岩船寺、浄瑠璃寺ともに山の中にあるお寺だとは知りませんでした。山中を歩くなかで、景色の美しさはもちろん、空気が澄んでいて、穏やかな気持ちになりました。

◇そういえば石仏は、どうして山中にあるのか気になりました。

◇岩船寺が一番印象に残った。ここの阿弥陀如来座像はケヤキの一本造りで、浄瑠璃寺のものは寄せ木で造られており繋ぎ目なども見られた。（中略）使う材料、加工法で感じが変わってくると思った。

◇自由行動では国立博物館に行き、仏像展を閲覧しました。とてもたくさんの仏像や塑像があり、圧倒されました。

◇海竜王寺の観音様がスラッと美しく、良いなあ～と思いました。

◇今日は自転車でいろいろなところを回ることができてよかったです。古墳や○○跡というのが、自然に町の中に溶け込んでいて、不思議な感じでした。

◇亀石がかわいすぎて辛かったです。（中略）ちょっと間抜けな感じが面白かったです。

◇サイクリング気持ちよかったです！

◇稲次先生の自転車が後ろから見てすごかったです。←【必死でした(笑)、稲次】

◇橿原考古学研究所附属博物館、展示の仕方に感動。特に、キャプションや近くで観察してほしいもののピックアップが凝っていて、さらにそ

の台がテーブル兼柵になっていることに感動した。本当に！いい！

◇飛鳥川柳シリーズ

遺跡来て 仕組みのわからぬ 水時計

〔水落遺跡〕

水の都に 波紋起こせり 鐘の音か

〔飛鳥寺〕

◇京都入り。宇治上神社と平等院鳳凰堂に行きました。

◇一番印象に残ったのは、平等院の雲中供養菩薩像である。52体の菩薩があり、雲に乗り奏楽、歌舞する姿が見られ、どれも同じ表情やポーズはしておらず、また東大寺で見た雲中供養菩薩像とは全く違う印象を受けた。

◇実際に目にすると、残った金箔の僅かな光や、光背の形や傾きにも目がいくようになり、違いや共通点を知ること興味・関心が増していきました。

◇夜に見る清水寺が本当にキレイでした。（中略）いっぱい写真を撮ってしまいました。

◇龍安寺の石庭が最高に好きでした。（中略）庭への没入感といいますか、自分も庭の一部になっているといいますか、そんな感覚が強かったです。

◇解散後、六波羅蜜寺に行き、空也上人の「南無阿弥陀仏」と唱えた言葉が仏の形で現れている姿をみることもできました。

◇今日で最終日ということでもっと寂しいです。

◇先生も今まで計画から引率と本当にお疲れさまでした。

◇全20人で同じ宿に長期滞在、移動中のハプニング、楽しかったです。

#### 4、授業担当者からの一言

会食の席で頂いた「いなじ先生と行く古美術見学」の写真立て、本当にうれしいサプライズでした。「いなじ」最後の古美術見学、その記念にと皆で考えて作ったものとのこと。感激の余り、思わず涙がでてしまいそうでした（少し酔っていたせいもある）。皆さん、本当にありがとう！